

# 月刊東乳商

第498号

東京都牛乳商業組合 平成20年7月20日  
●URL <http://www.tokyo-gyunyuuya.com> E-mail [tonyusho@forest.ocn.ne.jp](mailto:tonyusho@forest.ocn.ne.jp)  
毎月20日発行・定価1部150円 1年1800円(郵便料共)(昭和47年2月22日第3種郵便物認可)

発行所  
東京都牛乳商業組合  
広報部 〒101-0038  
東京都千代田区神田紺屋町29  
神田ISビル  
☎(5295)3721(代表)  
FAX(5295)3724

乳製品販売顧客管理コンピュータシステム

## 市乳くん

宅配/卸・ハンディ・本支店間・LAN・EOS・顧客管理

【資料請求はこちらから】 >>>> 0120-5959-92  
株式会社オシカワシステム <http://www.oskw.jp>

### 6月1日は『牛乳の日』

#### 生・処・販が二丸、牛乳大イベント開催 東京・有楽町が牛乳一色 日本酪農乳業協会主催

牛乳のすばらしさをアピールして消費拡大につなげようと、日本酪農乳業協会(JMILK)は、今年から六月一日を「牛乳の日」として制定し、東京・有楽町駅周辺で牛乳の理解と販売促進イベントを開催した。国連食糧農業機関(FAO)が二〇〇一年から六月一日を「World Milk Day(世界牛乳の日)」と定め、世界各国で採用が進んでいることから、日本でも導入することとなった。

この日は生・処・販各団体も共催して一大イベントとして展開され、骨密度測定、試飲、搾乳体験、子牛へのほ乳体験、牛乳関連クイズやセミナーなどが行われ、多くの街行く人が足を止めて参加。牛乳への理解を深めていた。

今回の取り組みは、牛乳の消費減退に歯止めがかからないなか、飼料や原材料の高騰で苦しめられている乳業関係団体が一致団結、乳業は生産者団体の中央酪農会議、乳業団体・全国酪農協同組合連合会、販売業団体の全国牛乳流通改善協会、全国牛乳商業組合連合会の6団体で、関係団体がそろってこうした催しを行うのは、初の試みという。

東京・有楽町の東京国際フォーラムで行われた「牛乳の日」記念式典で、JMILKの本田浩次会長は主催者を代表し「これまで各業界団体がそれぞれ独自に行ってきた牛乳・乳製品の普及活動を、酪農乳業界が一丸となって実施することになり感無量だ。この『牛乳の日』制定をきっかけに、牛乳・乳製品の価値を再認識し、酪農乳業界が一丸となって普及促進に努めることで、より安定的に製品を届けるといった社会的責任を果たしていき(い)たい」とあいさつした。

この日は若林正俊農林水産大臣も有楽町駅近辺のイベントを視察したあと、記者会見を行った。

#### 「6月1日は、牛乳の日。」記念式典



は格段に低い。森永乳業・古川一社長

学生時代、森永乳業の牛乳工場にバイトをし、入社後は牛乳工場に配属され、一日六、七本は飲んだ。おかげで大きな病気をすることなく今日に至っている。典型的にスリムでいられるのも、牛乳のおかげだ。若い世代には浴びるように牛乳を飲んで強い体を作り上げてもらいたい。一部で牛乳が肥満につながるのではないかと意見もあるが、女子栄養大学の西先生による大規模な調査では、牛乳を飲まない生徒と比べて体重は牛乳を飲まない生徒と比べて体重に違いはなく、体脂肪はむしろ低いという結果が得られている。

雪印乳業・高野瀬忠明社長  
酪農乳業をどう発展させるのか。三つのポイントがある。第一は食糧資源として酪農乳業を発展させる。世界中で食料が取り合いになっているのが酪農乳業だ。飼料問題で苦しむ酪農現場を直視し、国民的レベルにまで発展させていくことが大切だ。2番目は需要の確保。牛乳・乳製品の栄養機能をさらに深化させることで需要を拡大できる。世界経済の発展の中でヨーグルトやチーズは確実に増えている。国内の進化させた技術が輸出にもつながる。3点目は酪農教育。酪農現場の実体を理解でき、豊かな国造りに酪農は貢献できる。

日本ミルクコミュニティ小原實社長  
牛乳離れが深刻な課題になっている。牛乳は健康や栄養の面から、大変貴重なすばらしい食品であること、言うまでもない。母乳の次は牛乳だ。子どもや若者だけでなく、お年寄りにとっても消化吸収しやすい動物性タンパク質、栄養食品として牛乳はなくてはならない。北欧でミルクは太陽だと言われている。太陽の光の下で育つ青々とした牧草を、牛のおなかを通して牛乳を作り出すのは、あの白夜、厳寒の北欧ではまさに太陽からの贈り物だと思ってもいい。昨今機能性飲料がもたらはやされていくが、牛乳こそ最高の栄養機能性食品だ。

牛乳健康セミナーでは、「牛乳の成分とその機能」と題して東京大学の清水誠教授が講演。同氏と、牛乳大使に任命された立松和幸氏、管理栄養士の小山浩子氏によるトークセッションも行われ、会場内で参加者に骨密度測定、ミルクドリンクが提供された。(乳業ジャーナルより一部引用)

#### 「牧場見学」 東京近郊の牧場も頑張っています

6月15日(日)東京商役員有志で八王子にある磯沼ミルクファーム(代表磯沼正徳氏)を見学した。NHK6月1日朝の放送「たべもの」直線で磯沼ミルクファームが紹介され、番組を見た会員から我々販売店も生産者である牧場のことをもっと知る必要があるのではないかと提案があり、今回の牧場見学となった。



この牧場ではホルスタイン、ジャージー、ブラウンスイスなど約80頭の乳牛が飼われており、その一部は群馬県で放牧飼育されている。磯沼ミルクファームはホーモページでも紹介されているが、地域とのふれあいに力を入れられており、「酪農教育ファームの認証牧場」として「磯沼牧場カウボウイ・カウガールスクール」の開設や、毎週日曜日には乳搾り体験等いろいろなおイベントが行われている。我々が訪問した日も大勢の見学者が訪れて、磯沼ミルクファームの売店では生乳から作られた低温殺菌牛乳やヨーグルト等が人気で、殆どが完売の様子であった。

低温殺菌牛乳をこそそうになりながら、代表の磯沼正徳氏を囲んでの意見交換では、「生産者と販売側はいろんな機会を捉えて話し合いの場を持つことも必要ではないか」と我々サイドからの話にも肯かれ、酪農経営について現状は「酪農家はどのも飼料の高騰等により一段と厳しい環境に直面しており、都内で昨年廃業した酪農家は10数軒にもなる」と今の窮状を訴えられた。

磯沼氏を囲んで記念撮影して磯沼ミルクファームを後にした。

東乳商組合員の訃報  
ご冥福をお祈りいたします。  
六月二十一日 立川支部  
メグミルク 中山乳業(株)  
店主 中山忠克殿(享年104歳)  
中山うめる殿(享年104歳)

## 暑中お見舞い申し上げます

<p style="text-align: center;"><b>東京メイトー牛乳協会</b></p> <p style="text-align: center;">〒182-0025 東京都調布市多摩川一三〇一 日本ミルクコミュニティ(株)内</p> <p style="text-align: center;">会長 藤橋 國夫 副会長 関根 淑雅 瓜本 治</p> <p style="text-align: center;">東京都板橋区幸町二一四 協同乳業(株)東京支店 市乳課内 電話 〇三二五九六六一二二一七</p>	<p style="text-align: center;"><b>東京メグミルク協会</b></p> <p style="text-align: center;">〒105-0003 東京都港区西新橋三二四一五 レック御成門川名ビル八〇二号室 電話 〇三二三四三七一三八八二</p> <p style="text-align: center;">会長 依田 末男 副会長 清水 長治 西村 武男</p>	<p style="text-align: center;"><b>森永牛乳協会</b></p> <p style="text-align: center;">〒105-0003 東京都港区西新橋三二四一五 電話 〇三二三四三七一三八八二</p> <p style="text-align: center;">会長 河野 行博 副会長 加藤 志郎 竹内 清典 市川 信典 青木 典</p>	<p style="text-align: center;"><b>東京明乳事業協同組合</b></p> <p style="text-align: center;">東京都墨田区緑一三二六二一 (明治乳業両国ビル二階) 電話 〇三二六三三一一六九七〇</p> <p style="text-align: center;">理事長 川幡 康成 副理事長 的場 眞一 高梨 透 専務理事 佐々倉 透</p>
--	--	--	--

# 改善協版

## 平成20年度全国牛乳流通改善協会 実施事業の事務局長説明会

去る二十六年六月二十七日(金)

十三時三十分より、東京ガーデンパレスにおいて全国の事務局長への実施事業の説明会がおこなわれた。

会議は松尾会長以下全国牛乳流通改善協会各役員、機構担当者及び全国各地域事務局長の方々に田中事務局長等から説明が行なわれた。内容は次の通り。

### 牛乳・乳製品流通活性化対策事業一覽

#### 1 牛乳販売店調査検討拡張マニュアルの作成事業

全国を三ブロックに分割し三人の経営専門家により過去五年間の優良事例販売店を再調査し、販売手法等の変化を基礎データとして整理して拡張マニュアルを作成する。

#### 2 牛乳普及啓発資料作成配布事業

牛乳摂取の必要性を訴求するチラシを作成配布し、もって飲用牛乳の消費拡大に資する(四二五万枚)。

#### 3 牛乳販売店消費者ニーズ把握実態調査事業

当該業界に対する消費者ニーズを把握しその結果を今後の流通活性化や飲用牛乳需要拡大策につなげる(五千軒)。

#### 4 販売拡張方策検討事業

IT活用による販売拡張方策の検討を通して、販売店の宅配機能の高度化を実現し、顧客からの支持獲得と経営の活性化により、牛乳の消費拡大に貢献する。

中央検討会及び地域検討会があり、中央は各県一名、地域は二十都道府県各二十名の

#### 参加でおこなわれる。

#### 5 後継者育成研修会事業

意欲ある牛乳販売店を対象に、経営者意識の醸成に係る必要要件についての研修会を開催し、消費拡大を担う牛乳販売店の経営安定化活性化を図る。

#### 6 牛乳販売店優良事例発表会事業

創造的で優れた販売技術手法により需要の掘り起こしに寄与し、実績を挙げている牛乳販売店を選出し、その技術手法等の事例を発表し表彰する。その内容を優良事例集として纏めて普及啓発を図り需要拡大を図る。

#### 7 ブロック会議

当該ブロック内の流改協会長による会議の開催とし、事業関係、組織強化、情報交換を行なうことにより、牛乳販売業界の安定的発展及び牛乳の流通改善を図る。

#### その他

全国牛乳流通改善協会事業の事務手続きの説明があつて、正の領収書は各地の協会で保存し、写しを全国牛乳流通改善協会に送ることとなった。

なお会議当日の交通費の支給は実費にするとのことであったが、ある事務局長から役員の人に対する相応の日当部分があつてしかるべきではないかとの発言が受け入れられて持ち帰り検討する事になった。これらを受けて東京都牛乳流通改善協会では七月二十九日に都改協役員に、三十日に各メーカー担当者に今年度の取り組みについての説明会を行なう予定である。



## 平成20年度 牛乳・乳製品利用料理コンクール 東京都大会のお知らせ

一般消費者を対象として、日常の食生活の中に牛乳及び乳製品をより活用してもらう動機付け及び定着化を図るために今年度も料理コンクールを開催します。

毎日飲む牛乳に加えて、ひと手間かけたカルシウムたっぷり料理や、菓子・デザートです。

育ち盛りの子供からお年寄りまで美味しく食べて欲しい、それが私たちの願いです。牛乳・乳製品をたっぷり使った「どこでも入手できる材料で、簡単に作れるオリジナル・アイデア料理」で、

ネーミングは中身がよくわかるシンプルなお名前をお願いします。お得意さんに全国大会を目指して、応募されるようお勧め下さい。

### 〔応募要領〕

#### 1 応募方法

応募用紙(原稿用紙などでも可)に料理名、材料(分量4人分)、材料費(4人分で2400円以内)、作り方、調理時間(下記に含めて1時間以内)、料理のポイントを記入の上、郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、年齢、職業、を明記して東京都牛乳普及協会へお送り下さい。できれば、完成品の写真なども添えてください。

○応募は1家族1名とさせていただきます。ただし作品の複数応募は可。  
○応募作品は未発表のものに限ります。

2 牛乳製品の使用基準量(4人分)  
○単品使用の場合…牛乳200ml以上、バター20g以上、生

クリーム60ml以上、スキムミルク20g以上。

○2、4品使用の場合…2品の場合は上記の1/2以上、3品の場合は1/3以上、4品の場合は1/4以上とする。

なお、4品以外の乳製品の使用は自由ですが、上記を満たすことが条件です。

#### 3 応募資格

東京都在住の方で男女を問いませんが、高校生以上の方に限ります。現職の調理師のプロは除きます。全国大会経験者は、全国大会には5年間出場できません。

#### 4 応募締め切り

平成20年8月29日(金)必着

#### 5 選考方法

応募作品の中から書類選考の上、10点を選び、実演によるコンクールを行い最優秀賞1名、優秀賞1名、優良賞8名を選出します。コンクールは平成20年9月27日(土)に東京栄養食糧専門学校(世田谷区池尻)で開催します。最優秀賞に入賞された方は、平成20年11月8日(土)～9日(日)に武蔵野調理師専門学校(豊島区)で開催される全国大会へ東京都代表として出場していただきます。(交通費は当協会負担)

#### 6 審査委員

東京栄養食糧専門学校 教育部顧問 福井英記先生他

#### 7 表彰

最優秀賞(3万円相当賞品)1名、優秀賞(2万円相当賞品)1名、優良賞(1万円相当賞品)8名  
○応募者全員に牛乳料理のレシピ集を差し上げます。

【お問い合わせ・応募は】

〒184-0004

東京都小金井市本町6-9-35

NOSA I 会館

東京都牛乳普及協会

電話 042-381-1362

FAX 042-381-1363

※応募者の個人情報選考と結果の連絡のみ使用します。

「ミルクって、サブリかも。」  
キャンペーンを展開

Jミルクでは2008年1月より、「ミルクって、サブリかも。」というキャッチフレーズのもと、牛乳をナチュラルサブリとして毎日にもっと取り入れ

てもらおうキャンペーンを実施。エネルギーはあまり摂らなくてすむのに、カルシウムやタンパク質、カリウム、リン、ビタミンA、D、B2、B12、パント

テン酸など、人のカラダに必要な栄養素をたっぷりのコップ一杯で摂ることのできる、牛乳のすごさについてメッセージしました。

現代人は食生活にさまざまな心配事を抱えています。たとえば、働くお父さんは外食も多く、食事全体で健康管理をしてあげるのは難問。また、娘さんはキレイになりたいと、ちよつと無理して食べないダイエットを

していたり、家族の健康を守りたいお母さんにとっては、なかなか悩ましい状況です。だからといって、錠剤のようなサプリメントには抵抗がある。そんな人にこそ、栄養素密度が高い「牛乳」の出番というわけです。

飲んでおいしい牛乳ですが、たくさん飲めば栄養がギュッとつま

った牛乳は、栄養素を補給するサプリメントとしても、とても優秀!

キャンペーンでは、コップ1杯(200ml)で摂れる栄養素について、栄養素等表示基準に対する割合を示したグラフとともに訴求しました。

Jミルクのホームページ内でも、スペシャルコンテンツを展開しています。

# 暑中お見舞い申し上げます

東京興真会

会長 関根伸綱

副会長 久古次郎

深瀬 潔

千葉県八千代市大和田新田一三五  
コーシン乳業(株)内  
電話 〇四七-四五九-五七〇〇

小岩井牛乳協会

会長 相田 勝

副会長 高橋 常男

新井 政春

東京都千代田区鍛冶町二一六一  
堀内ビル四階  
小岩井乳業(株)首都圏第一支店内  
電話 〇三一五二〇九-八〇三二

グリコ牛乳販売事業協会

理事長 牛尾田 建一

副理事長 佐伯 茂

専務理事 森田 正男

川崎市多摩区登戸五九八  
(牛尾田 建一内)  
電話 〇四四一九-一七三三

業務中のシートベルトの免除のステッカー



- 高齢者と子供の交通事故防止
- シートベルトの着用の徹底
- 若者による二輪車の交通事故防止

ステッカーご希望の方は  
東乳商事務局へ TEL 5295-3721

〒101-0035

千代田区神田紺屋町29神田1Sビル3階